

12月市議会定例会

一般質問

12月11日(火)から13日(木)の3日間の日程で15人の議員が一般質問を行いました。紙面では一部の質問を要約し、質問順に掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録やホームページをご覧ください。



12月市議会定例会の様子

12月11日(火)

自民クラブ

永易英寿議員 (30分)



- (1)市長の政治姿勢について
- (2)防災体制の充実について
- (3)四国一子育てにやさしいまちの実現に向けて
- ①放課後児童クラブの食食提供

- ②年度途中の待機児童解消
- ③ファミリー・サポート・センター
- ④子育て支援拠点施設
- (4)外国人労働者の受け入れと多文化共生について
- (5)健康長寿のまちづくりについて

(4)外国人労働者の受け入れと多文化共生について

(5)健康長寿のまちづくりについて

①総合福祉センター駐車場

②ふれあい・いきいきサロンで医療費抑制

(6)街灯設置について

①沢津・垣生海岸堤防周辺

②国領川緑地周辺

(3) ①放課後児童クラブの食食提供

問 働く母親を応援するため、夏休みなど学校の長期休暇中の昼食提供を実施してはいかがか。奈良市では委託を受けた民間事業者が配食し、アレルギー対応も個別にしている。新居浜市の放課後児童クラブでは学校給食がない期間は弁当を持参する必要がある、保護者の負担になっている。

答 厚生労働省が定めた運営指針にある子どもの健全育成という目的を踏まえ、親子のコミュニケーションや家庭の教育力向上などの観点から、保護者による提供が望ましいと考えている。

(1)新たな住民自治について

が、働いている女性の社会参加の促進という側面もあるため、保護者と十分に意見交換し、新しい選択も含めて議論していただくと考えている。

(6) ②国領川緑地周辺

問 あかがねマラソンの影響でジョギングなどをする人が増えており、コースの整備が必要である。東雲競技場から城下橋までは、自転車歩行者専用道路に街灯が設置されているが、国領川河川敷内には、ほぼ街灯がない。利用者の安全面に配慮して街灯の設置はできないか。

答 現在、河川法による厳しい制約や利用者数が少ないことなどにより、一部区間しか設置されていないが、近年、ジョギングなどの利用者の増加に伴い、安全面に配慮し、河川敷への進入路と自転車歩行者専用道路が交差する箇所など、道路照明灯の設置基準に準拠した箇所への部分照明の設置に向けて、河川管理者と協議を行い、検討していく。

いずみ会

篠原 茂議員 (30分)



(1)新たな住民自治について

- (2)災害対策について
- (3)工業用地の確保とLNGの活用支援等について

(4)介護人材の確保について

(2)災害対策について

問 鹿森ダムの緊急放流による越流や決壊等が生じた場合の新たな緊急体制を早急に策定する必要があると思う。泉川校区では国領川が越流すると避難場所である泉川小学校、泉川公民館も浸水が予想される。ダムの緊急放流を見据えた国領川整備計画の進捗はどうなっているのか。

答 河川管理者である愛媛県が河川整備基本方針の策定を進めているが、方針策定には鹿森ダムを含めた河川全体の総合的な検討が必要であるため、現在、国と協議を進めていると聞いている。市としても、河川整備基本方針、河川整備計画の早期策定に向けて引き続き要望するとともに、側面的な協力を行っていく。

(3)工業用地の確保とLNGの活用支援等について

12月12日(水)

問 工業用地が少なく、企業の誘致競争において不利な状況である。今後も内陸型の工業団地を整備していくのか。また、海岸部の埋め立てにより工業用地を確保し、企業誘致を図っていくのか。将来的な工業用地の確保策をどのように考えているか。

答 次期工業用地の候補地の検討を進めているが、内陸部は造成に伴う残土処理に多くの経費を要するなど、造成単価が観音原町内陸型工業用地より割高になる可能性が高く、最終的な決定はしていない。また、海岸部の埋め立ては瀬戸内海環境保全特別措置法や環境アセスメントなど対応が必要な項目が多く、近年では住友化学用地に隣接した埋め立て事業以外は実施していない。まずは内陸部での確保を検討するとともに、将来的な用地確保に向け、沿岸部の埋め立ての可能性も視野に入れ検討したい。

公明党議員団
佐々木文義議員 (30分)



(1) 高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業等について
(2) 回想法について

(3) 環境について

① エコアクションプランにいはま

② 売電

③ 上下水道

④ SDGs

(4) 証明書の受付、交付について

① 券売機

(5) 子育て支援について

(6) 古い消火器の取り扱いについて

(3) ① エコアクションプランにいはま

問 市役所の地球温暖化対策実行計画である「新居浜市地球温暖化対策率先行動計画」(エコアクションプランにいはま)が

今年度、第3期の最終年度となるが、これまでの取り組みを振り返って、その内容と成果、今後の課題について伺いたい。

答 温室効果ガスの排出量削減に向けて、平成25年度比マイナス5%を目標に職員一人一人が節電、節水、コピー用紙の使用量削減などに取り組んでいるが、目標値の達成は厳しい状況にある。今後より一層の削減を図るためには、職員一人一人の省エネ活動では限界もあることから、来年度見直し時期を迎えるエコアクションプランにいはま

まの中で、公共施設への省エネ設備機器導入の指針となる項目を盛り込むことなどを含め、更なる省エネ活動を検討したい。

(3) ④ SDGs

問 教育委員会がSDGs(国連が掲げる持続可能な開発目標)をわかりやすくまとめた小冊子「新居浜版SDGs」を作成し、全小学5・6年生に配布されたようであるが、児童や市民の方からどのような反響があったか伺いたい。また、今後どのような取り組みの予定があるかも伺いたい。

答 市内在住の作家石村嘉成さんの協力を得て作成した冊子は、各学校の総合的な学習の時間などで活用されており、石村さんの迫力ある作品に子供たちが魅せられている、広い視野で考え小さなことから取り組むことへの動機付けになっているなどの評価の声をいただいております。多くの団体や個人からも問い合わせがある。今後は学校教育だけでなく、行政各部署、企業などと連携協力した事業展開に努めるとともに、市民全体の理解促進を図る取り組みにも努めたい。

いずみ会
大條雅久議員 (10分)



(1) 四国の山を守る施策について
(2) 自殺対策計画について

自民クラブ

田窪秀道議員 (30分)



(1) 海の歴史的文化遺産について
(2) 本市の企画力と営業戦略について

① 新居浜市をPRする上での一歩の売り
② 大島を中心とした観光戦略
(3) 庁舎の管理について

(1) 海の歴史的文化遺産について

問 本市の歴史を語る上では、山の文化の「別子銅山」と海の文化の「多喜浜塩田」は欠かせない。元禄時代に遠浅の海に堰堤を築き、製塩を通じて西条藩の飢餓を助け、本市発展に多大なる貢献をされた多喜浜塩田の先駆者達を先人顕彰に追記するにはどのような方策や施策が必要になるのか。

答 今後新たに先人を追加する場合は、市民の皆様をはじめ、

市議会や理事者が協力して改正し後世に伝えていくものと考えているため、それぞれの先駆者の歴史的・社会的功績などについて、市民的な認知度の向上と合意形成のもと進めることが重要であると考えている。今後は、地域の団体の皆様とともに当時を知る方々の知識や経験を初め、貴重な資料の収集にも努めながら、多喜浜文化の伝承に取り組み、先人を顕彰するための市民合意の形成に取り組みたい。

戦略

問 本市の自然資源には国の天然記念物に指定される予定の「ツガザクラ」や四国山地の恵み「100%地下水」、また「瀬戸内の自然が残る大島」がある。この大島を海洋スポーツの拠点にし、SNSなどで情報発信すれば本市への移住促進や定住人口拡大、若者の居場所もできると思うがいかがか。

答 大島やその周辺海域、マリパーク新居浜などを活用した新たなツーリズムの開発は、本市の観光振興にとって非常に有意義であると考えている。現在

民間事業者により、荷内から大島までのシーカヤック体験などが実施されており、マリンスポーツと自然資源を結びつけた新たな体験型観光コンテンツの展開が図られている。今後は、マリンスポーツ振興への機運の醸成や民間事業者との連携を図りながら、自然の魅力を活用した新居浜でしか味わえない新たな観光資源の可能性について検討したい。

無党派 井谷 幸恵議員 (10分)



(1) 国保料の引き下げについて

① 高すぎる国保料

② 1世帯1万円の引き下げ

(2) 磁気ループの導入について

① 難聴者の現状

② 喜ばれる磁気ループ

(3) 市営住宅の保証人について

① 住まいは人権

② 保証人は不要

無党派

太田 嘉一議員 (10分)



(1) 新居浜太鼓祭りについて

自民クラブ

藤田 誠一議員 (30分)



(1) ふるさと映画ふたつの昨日と

僕の未来について

(2) 新元号への対応について

(3) 歯科衛生士の修学支援について

(4) 都市間交流について

(5) 太鼓祭りの中高生のかき夫参加について

(3) 歯科衛生士の修学支援について

について

問 本市の安定した歯科医療の推進と慢性的な歯科衛生士不足を解消するために、市独自の歯科衛生士修学支援制度を実施することは、衛生士不足の解消だけでなく、Uターンの促進、移住・定住の促進にもつながる有効な施策と考えるがいかがか。

答 歯科衛生士修学支援制度は、総合戦略に掲げる移住・定住の促進にもつながる有効な施策であるが、保育士や介護従事者なども不足している状況にあることから、他の職種を含めた支援制度について、他市の事例を参考にしながら検討する。

無党派 藤田 幸正議員 (10分)



(1) 住みたい住み続けたい町を目指す

① 地元産業の振興

② 地域コミュニティの充実

③ 役に立つ市役所の人財育成

12月13日(木)

無党派

神野 恭多議員 (10分)



(1) 国際化の推進について

① グローバルな視点でのまち

問 市長と高校生の懇談会で出た、新居浜太鼓祭りのかき夫に高校生を参加させるためには何が問題なのか。いつまでも参加

参加について

(5) 太鼓祭りの中高生のかき夫



新居浜市議会事務局

←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

自民クラブ
小野辰夫議員 (30分)



づくりの推進
②多文化共生社会の推進

(1)高校生参加の地方創生について
(2)Wifi活用による観光サー
ビスについて

(3)外国人労働者支援について

(4)高齢者の交通手段の整備につ
いて

(5)自治会について

(1)高校生参加の地方創生につ
いて

問 まちづくりをする上で若い世代の行動力が不可欠である。先日も学生と市長との懇談会が開催され、また小中学生を含めたU-18まちづくり会議も開催された。今後人口減少問題などを考える時に将来を担う若い世代の価値観を反映しながら、今後のまちづくりを進めることが必要ではないか。
答 若い世代によるまちづくりを議論できる環境が根付きつつある中で、若い価値観を市政に反映させていくためには、多くの高校生を巻き込む取り組みが必要である。気軽に参加でき、安心して自分の意見が言える機

会を緩やかなネットワークとして構築できるように定期的な話し合いを重ねていきたい。若い価値観によるこれまでにない取り組みが発案されることを期待するとともに、その取り組みが新しい力となっていくように積極的に支援、協力したいと考えている。

(4)高齢者の交通手段の整備につ
いて

問 高齢者の運転免許証自主返納制度があるが、本市において平成30年10月末現在、75才以上の305名の方が返納され、その後車なしで病院や買い物に行くにしても不便を感じず生活できる手段が必要である。参考として「JTB定額乗り放題ジェロントクシー」の導入の検討などをしてはどうか。
答 民間タクシー事業者による定期券制度の導入については、特定の場所のみを移動することの多い高齢者にとって交通手段の選択肢が増えるものとして、国や業界の具体的な動向を注視しているところである。高齢者にとって便利で生活しやすい交通手段の整備については、既存の交通体系の利用に向けた自立

支援の取り組みや地域の支援を含めて、今後も積極的に検討を進めたい。

いずみ会
三浦康司議員 (20分)



(1)地方創生による遊休農地対策について

①農福連携、農業法人設立への支援

(2)公民館を核としたまちづくりについて

(3)新居浜市・大府市都市間交流協定について

公明党議員団
高塚広義議員 (20分)



(1)防災行政について

①地区防災計画

②避難行動要支援者の支援

③災害ボランティア

④子ども防災手帳

⑤観光危機管理の充実

(2)福祉行政について

①抗体が失われた小児へのワクチン再接種

②乳幼児健診での小児がんの早期発見

(3)学校施設の環境整備について

無会派

米谷和之議員 (10分)



(1)わかりやすい市の文書について
①高齢者等へのお知らせ
②改善の具体策

(2)市のポイント制度の統合について

①目的

②協議体制

無会派
岡崎 博議員 (10分)



(1)大型公共事業等について

①市民文化センターの建てかえ

②駅南開発

③総合運動公園

④市役所本庁舎建てかえ

⑤荷内沖埋め立て

⑥3万トンバス

(2)議員等によるパワハラについて

①現在までの経過

②あったことをなかったことに

③ハラスメント法制化

(3)公契約条例について

①調査、研究の状況

②働く者の賃金等労働条件の改善

③地域経済の活性化

④今後の課題

議事課

☎ 65-1321
☎ 65-1322